

一般社団法人野尻高原大学村主催

暮らしの森づくりシンポジウム

開催日時

2019年
8月1日(木)
13時～17時
(受付:12時30分～)

開催場所

信濃町立黒姫童話館ホール
長野県上水内郡信濃町野尻3807-30
参加費無料(なるべく裏面により事前にご連絡願います。)

【企画の趣旨】森は、私たち人間の祖先が生まれたふるさとであり、地球環境問題が深刻化する中、いのちを育む森の存在はますます重要性を増しています。1965年(昭和40年)に長野県信濃町に誕生した「野尻高原大学村」の森は、この間ほとんど手入れがなされないままに54年の年月を経過し、倒木が相次ぐ危険で不健全な森になり、心安らかに暮らせる森づくりが大きな緊急課題となっています。

大学村の森づくりを例に、人が森と関わりながら心豊かに暮らす道を考えるシンポジウムを、癒しの森を進める信濃町の協力を得て、開催することと致しました。

I 主催者挨拶・趣旨説明 13時～13時15分

一般社団法人 野尻高原大学村 理事長 渡辺圭司

II 基調講演 13時15分～14時15分

「森はよみがえる」

一般財団法人 C.W. ニコル・アファンの森財団理事長 C.W. ニコル

(休憩:14時15分～14時30分)

III パネル討論「暮らしの森づくりとその今日的意義」 14時30分～16時50分

講演1: いのちを育む森への想い

NPO法人ガイア・イニシアティブ代表 野中ともよ

講演2: 森と生物多様性

総合地球環境学研究所教授 中 静 透

講演3: 森の文化と林業再生への道

池田木材株式会社社長 池田聰寿

講演4: 森の“音”と健康増進機能

京都大学名誉教授・舞根森里海研究所長 田中克

パネル討論・フロアからの発言・提言 司会: 野中ともよ

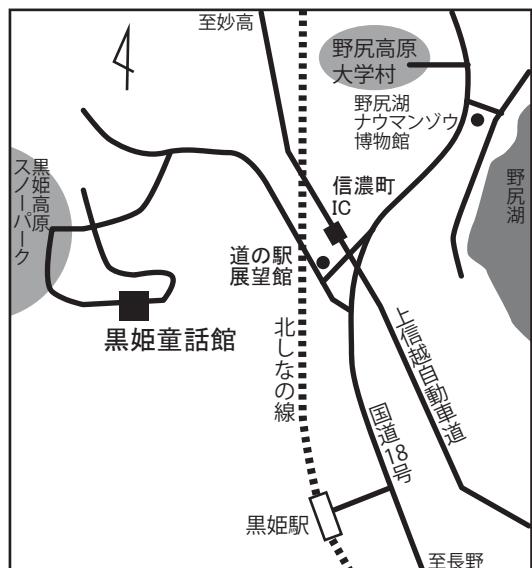
IV 閉会の挨拶 16時50分

共 催: 一般財団法人 C.W. ニコル・アファンの森財団、一般社団法人全国日本学士会
後 援: 信濃町、信濃町教育委員会、環境省信越自然環境事務所、信濃毎日新聞社

【問合先】

一般社団法人 野尻高原大学村 (〒389-1306 長野県上水内郡信濃町大字野尻 1197-29)
TEL: 026-258-3090 FAX: 026-258-3712 e-mail: kanrishitsu_shunin@gmail.com

一般社団法人 野尻高原大学村 主催
暮らしの森づくりシンポジウム



【登壇者プロフィール】

C. W. ニコル：手入れされない不健康な森を、適切な手入れを行うことにより、明るく生き物に溢れる健康な森に蘇らせることを実証。NPO法人日本に健全な森をつくりなおす委員会副理事長などを務め、日本の森を蘇らせる活動を推進。

野中ともよ：元NHKニュースキャスター・三洋電機株式会社会長などを歴任。ローマクラブエグゼクティブコミティメンバー。各地で森や海の大切さに関する活動を進め、地域に根付いて生きるグローバル視野の人材育成に取り組む。

中 静 透：森林生態学をベースに生物多様性に関する総合的な研究を展開。黒姫山麓の森を一つのサイトに長期モニタリング調査も実施。市民参加型調査を推進する認定NPO法人アースウォッチ・ジャパンのメンバーとして活躍。

池田 聰寿：伊勢神宮式年遷宮を取り上げたドキュメンタリー映画「うみ やま あひだ」で、木曽ヒノキを切り出し伊勢神宮に献納するシーンを紹介。木曽ヒノキの森を守り、森の文化の継承発展、それを担う人材育成にも尽力。

田中 克：森と海の多様なつながり、それをよくも悪くもする里の営みを問う統合学問「森里海連環学」を提唱。震災の海三陸沿岸域と瀕死の海 有明海の再生を、「森は海の恋人」の理念により目指す。趣味は野尻湖でのカヤック。

【講演会場へのアクセス】

鉄道：北しなの線黒姫駅下車 タクシー15分

バス：黒姫駅前より黒姫スノーパーク行きバス20分

(本数が限られますので、ご注意ください)

車：信越自動車道信濃町インターチェンジ下車10分

TEL：「信濃町立黒姫童話館」 026-255-2250

【問合せ及び参加申込み先】

一般社団法人野尻高原大学村管理室 TEL:026-258-3090 FAX:026-258-3712 e-mail:kanrishitsu_shunin@gmail.com

一般社団法人野尻湖高原大学村主催「森づくりシンポジウム」参加申込書

氏名または団体名	
連絡先	Tel, e-mail address または 住所を記入願います
参加人数	() 人

※記入いただいた個人情報は、本シンポジウム以外の目的で使用することはありません。

参加
申込

参加申込書にご記入の上、FAXでお送りいただくか、同内容を記載したE-mailもしくは電話によりお申ください。(Faxの場合は、切り取らずにお送りください)